

KYOTO UNIVERSITY PRESS

NOVEMBER FESTIVAL SPECIAL

# 狂うは一時の恥、狂わぬは一生の恥

第39回統一テーマ

1997年度 京都大学十一月祭 {十一月二十一日(金)~二十四日(月)} 特集号

## アイヌ・沖縄を考えると

「共生」という言葉がもたらす本邦の多様性について、改めて見直さなければならない。アイヌ民族の立場から見て、これに伴って北海道に存在するアイヌ民族の現状は、共生の観点から見て、極めて深刻な状況にある。アイヌ民族の現状を、アイヌ民族の立場から見て、改めて見直さなければならない。アイヌ民族の現状を、アイヌ民族の立場から見て、改めて見直さなければならない。

講演企画 アイヌ民族の現在 共生の時代を問う 講師 山本一昭氏 久住ともえ氏 小川花子氏



イラスト 観音崎 歌子

●十一月二十三日(日) 十八時より開演 文学部新館第三講義室

「共生」という言葉がもたらす本邦の多様性について、改めて見直さなければならない。アイヌ民族の現状を、アイヌ民族の立場から見て、改めて見直さなければならない。

今年も、十一月祭の季節がやってきました。詰めを向かえた企画主催者にとっては、「やっとやってきたか」という感じなのではないでしょうか。

「祭り」という儀式の前には「祭りの準備」という儀式があります。そして、終わってしまえば「祭りのあと」が淡く残ります。すべて終わった後の、誰もいない学内を一人で散歩するのを今年も楽しみにしています。今まで忙しかった友人ともやと一緒に、ゆっくりお酒が飲めそうで、それもまたとても楽しみです。

今年では講演を中心とした企画紹介を行います。ご多忙の中、快く寄稿を受けて下さった方々に深く感謝いたします。(編集部)

## 矢野事件をウヤムヤにさせず、性暴力のない京都大学を目指すサークル「紅」

わたしは最近「ダメリブ」をどうも嫌いな気がする。ダメリブは一枚一枚の葉が、まるで「ダメリブ」の葉のようになっている。ダメリブは、もう、生きている。ダメリブは、もう、生きている。ダメリブは、もう、生きている。

講演企画 いま、わたしたちにとってリブとは 講師 田中美津氏

「女」が男にとって、公衆の場では「裸」である。これは、男にとって、公衆の場では「裸」である。これは、男にとって、公衆の場では「裸」である。

## 法律相談部

模擬裁判'97 薬害エイズ～深すぎた敵～  
私たちが法律相談部は毎週土曜日に、一般の方を対象に法律相談を行っています。この法律相談部は、模擬裁判を行っています。この法律相談部は、模擬裁判を行っています。

NOVEMBER FESTIVAL SPECIAL KYOTO UNIVERSITY PRESS

### 会議・宴会・宿泊・婚礼は平安会館へ

- 宴会場大小和室13室
- 客室88室(定員178名)
- レストラン「呉竹」
- 割烹「帆船」
- ティーラウンジ「橘」
- 総合結婚式場
- 駐車場有

お気軽にご利用下さい 平安会館 TEL (075)432-6181 京都御所・中立売御門前 FAX (075)431-7949

### 京都大学の百年

京都大学100周年記念出版 (ビデオ・CD・本:3部作)

推薦の言葉 森 毅 京都大学名誉教授

ビデオで語る 京都百年の物語

ドキュメント 歴史映像

CD「我が青春の歌大」

ビデオ「我が青春の歌大」

本「京都大学の精神」

お申込み・お問い合わせ (株)紫翠会出版 TEL.751-2561 FAX.751-6922

### 京都大学新聞

学生団体 京都大学新聞社

〒606-8501 京都府京都市下京区 田町三丁目

TEL (075) 761-2054 FAX (075) 761-8096

編集部 01020-3-3509 印刷部 1部100円

### わたしの流

京都駅前地下街 PORTA

075-365-7520

今号の紙面

- ★講演企画「いま、わたしたちにとってリブとは」
- ★模擬裁判「薬害エイズ～深すぎた敵～」
- ★講演企画「アイヌ民族の現在 共生の時代を問う」
- ★特別企画「これからのリブ」



